

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成26年5月22日(2014.5.22)

【公開番号】特開2012-223782(P2012-223782A)

【公開日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-048

【出願番号】特願2011-91994(P2011-91994)

【国際特許分類】

B 2 1 D 5/12 (2006.01)

B 2 1 C 37/08 (2006.01)

B 2 3 K 13/00 (2006.01)

【F I】

B 2 1 D 5/12 F

B 2 1 C 37/08 A

B 2 1 D 5/12 G

B 2 3 K 13/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電縫管製造ラインの接合位置に設置され、左右の上ロールを除くスクイズロールが脱着可能に組み込まれた固定部と、該固定部上に重ねられ、内部に左右の上ロールが脱着可能に組み込まれると共に、固定部上の組み立て位置から、当該固定部上を開放する退避位置へ少なくとも一方向側を支点としてその側へ傾動する可動部と、該可動部を固定部上の組み立て位置に固定するロック機構と、前記可動部を組み立て位置と退避位置との間で往復駆動する駆動機構とを具備してあり、前記固定部はライン下流側に設置されたビード研削装置と組み合わされており、前記可動部は前記電縫管製造ラインの下流側に傾動すると共に、そのライン下流側へ傾動した状態で前記ビード研削装置上に重なるスクイズロールスタンド。

【請求項2】

請求項1に記載のスクイズロールスタンドにおいて、前記ロック機構は、可動部の下端部から正面側及び背面側に突出し、固定部上面の正面側の縁部及び背面側の縁部にそれぞれ係合する板状ストッパーと、固定部上面の正面側の縁部及び背面側の縁部に取り付けられて板状ストッパー係合部を両側から固定する複数のクランプとの組合せからなるスクイズロールスタンド。

【請求項3】

請求項1又は2に記載のスクイズロールスタンドにおいて、前記板状ストッパーは、可動部の支持部材を兼ねるスクイズロールスタンド。

【請求項4】

請求項1～3の何れかに記載のスクイズロールスタンドにおいて、前記複数のクランプは左右均等に配置されており、且つ当該スクイズロールスタンドにおける成形反力以上の荷重で前記板状ストッパーを常時押し付けるスクイズロールスタンド。

【請求項5】

請求項1に記載のスクイズロールスタンドにおいて、ライン下流側に傾動した可動部がビード研削装置上に重なるように、ビード研削装置における支持ロール及び研削部の高さ調整機構がライン側方又は下方に配置されて、ビード研削装置の高さが制限されているスクイズロールスタンド。